

令和 6 年度
「運営に関する計画」

大阪市立大正東中学校
令和 6 年 4 月

大阪市立大正東中学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

「全国学力・学習状況調査」「全国運動能力・運動習慣等調査」の結果等から、学力については、基礎基本の定着、思考力・表現力の育成、自主学習への取り組みに課題がみられる。道徳性・社会性については、防災意識や人権感覚の育成に一定の成果が見られるが、規範意識や自尊感情には課題が残る。健康・体力の保持増進についても、朝食の喫食率や薬物乱用に対する問題意識の育成に成果が見られるが、体力の向上や、健康な生活習慣に対する意識には課題が残る。

開かれた学校づくりの一つの柱として活用している、学校ホームページの閲覧数は市内でも上位になっているが、学校行事や部活動にかかる記事をよりきめ細かく掲載することによって、閲覧数の増加を図りたい。

校長経営戦略支援予算により I C T 教育環境の整備が昨年度かなり成果を上げ、 I C T 教育の取り組みが充実しているが、今年度は整備をより進め、あらゆる教育機会での I C T 機材の活用ができる環境を作る。また、津波や高潮の影響を受けやすい大正区の地域性を鑑み、防災教育を重視し、さらには地域や近隣の保育所との合同訓練を企画していきたい。

これを踏まえ、令和 6 年度は特に「挨拶・掃除・部活動」を軸に、生徒に規則正しい生活習慣を身につけさせていきたい。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

○令和 7 年度「学校に行くのは楽しいと思いますか」の学校アンケートに対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を 82 % 以上にする。

○令和 7 年度「自分には、良いところがありますか」の学校アンケートに対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を 77 % 以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和 7 年度「全国学力・学習状況調査の平均正答率の対全国比（国語・数学ともに）」を 1.00 以上にする。

○令和 7 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比（男子・女子ともに）」を 1.01 以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○令和 7 年度「授業日において学習者用端末を毎日使用した学校の割合（ただし、学校行事等 I C T 活用が適さない日数を除く）」を 100% にする。

○「働き方改革」を進め、令和 7 年度「教員の勤務時間の上限に関する基準（※基準 1 時間外勤務時間が 45 時間を超える月数 0 、かつ、 1 年間の時間外勤務時間が 360 時間以下」・※基準 2 1 年間の時間外勤務時間が 720 時間以下、時間外勤務時間が 45 時間を超える月数 6 以下、時間外勤務時間が 100 時間を超える月数 0 、直近 2 ~ 6 か月の時間外勤務時間の平均が 80 時間を超える月数 0 、を全て満たす。）を満たす教職員の割合」について、基準 1 は 49.7 % 以上・基準 2 は 75.4 % 以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 本市調査における「いじめを受けた生徒が当該行為をいじめではないと否定することをもって「いじめはない」と判断するのではなく、生徒の表情や様子をきめ細かく観察するなどして確認し、いじめに該当するか否かを判断している」とする教員割合を 100 % にする。
- 年度末の校内調査における「学校の規則を守っていますか」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を 97 % 以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 年度末の校内調査における学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する生徒の割合を 24 % 以上にする。
- 年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を 64 % 以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、生徒の 8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50 % 以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等のICT活用が適さない日数を除く〕
- 代休日の取得を促したり、育児・介護に係る諸制度を積極的に推進したりすることで、教職員が働きやすい環境を整え、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合を 42 % 以上にする。（※基準 1 時間外勤務時間が 45 時間を超える月数 0、かつ、1 年間の時間外勤務時間が 360 時間以下）

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式 2)

大阪市立大正東中学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○本市調査における「いじめを受けた生徒が当該行為をいじめではないと否定することをもって「いじめはない」と判断するのではなく、生徒の表情や様子をきめ細かく観察するなどして確認し、いじめに該当するか否かを判断している」とする教員割合を 100 % にする。</p> <p>○年度末の校内調査における「学校の規則を守っていますか」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を 97 % 以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>いじめの未解決件数を 0 にする。</p>	
<p>指標 2 学期末段階において、いじめの未解決件数を 0 にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 2 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>生徒会を中心に、学校のルールを守る意義を伝えていく。また、生徒が自主的に学校のルールを守る姿勢を養っていく。</p>	
<p>指標 校内調査における「学校の規則を守っていますか」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を 97 % 以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後への改善点	

(様式 2)

大阪市立大正東中学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかつた		B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた
年度目標		達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○年度末の校内調査における学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する生徒の割合を 24 % 以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を 64 % 以上にする。</p>		
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p> <p>取組内容① 【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】 全教員が「主体的・対話的で深い学び」の要素を取り入れた授業スタイルを模索し続ける。 指標 全教員が年間 1 回以上「主体的・対話的で深い学び」の要素を取り入れた研究授業（公開授業）を行う。</p> <p>取組内容② 【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 関連する教科や部活動、特別活動や学校行事などを通じて、体力の向上を目指した取り組みを、実施計画に従って取り組む。（保健体育科主任） 指標 校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を 64 % 以上にする。</p>		進捗状況
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
今後への改善点		

(様式 2)

大阪市立大正東中学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○授業日において、生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50 % 以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等の ICT 活用が適さない日数を除く〕</p> <p>○代休日の取得を促したり、育児・介護に係る諸制度を積極的に推進したりすることで、教職員が働きやすい環境を整え、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合を 42 % 以上にする。（※基準 1 時間外勤務時間が 45 時間を超える月数 0、かつ、1 年間の時間外勤務時間が 360 時間以下））</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 【基本的な方向 6 教育 DX(デジタルトランスフォーメーション) の推進】 全教科で、創意工夫をして、学習者用端末を使用する授業展開を模索する。 (GIGA スクール委員会 委員長)	
指標 (家庭学習も含めて) 生徒自身が学習者用端末を週 2 回以上使用する。	
取組内容② 【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教職員の「働き方改革」を強く推進する。 (教務主任)	
指標 (授業時数確保と両立させつつ) 月 1 回以上のペース (年 12 回以上) で教職員の「リフレッシュデー」を設定する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後への改善点	

令和5年度 学校関係者評価報告書

大阪市立大正東中学校 学校協議会

1 総括についての評価

学校協議会実施後に記載
(年度末?)

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：

年度目標：

・
・
・

3 今後の学校園の運営についての意見